

文学部【人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）】

プログラム名	和文	人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）
	英文	Humanities (Global Asian Studies)
開設学部	学部名	文学部
募集対象者	平成28年度に外国語学部外国語学科の2・3年次に在学する正規学生	
修了要件	24単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を12単位以上修得しなければならない。
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうち学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）に関するプログラムを提供する。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	アジアを対象として、思想、歴史、文学、芸術などの人文学の基礎知識、理論、方法論を学び、幅広い人文学的教養と高い専門性を備えたグローバル人材としての能力を涵養する。	
カリキュラムの構成	中国、台湾、韓国、インド、東南アジア諸国などはそれぞれ独自の文化と歴史を持っているが、グローバル化が進む現在において、近隣諸国や日本、欧米との関係性において理解することが必要となっている。各国の政治・経済活動、宗教、生活様式、価値観やモノの見方は歴史的に形成されてきたものであり、様々な文化的事象の歴史的研究は不可欠であるが、さらにはひとつの国や地域を越えて地球的規模の相互関連性の中に位置付けることによってダイナミックな形成過程を明らかにできる。外国語学部で専門的に学ぶ言語、及びその言語が使用されている国・地域の枠を超えて、アジアを世界的なコンテキストの中で理解する視点を涵養する。そのためにアジアにおいても共通のコミュニケーション・ツールとして機能している英語の運用能力の習得は欠かせない。本プログラムには英語による授業を組み入れる予定である。	
履修資格・条件	募集人員は若干名で、履修申請書（志望理由）及び成績等の審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。希望者多数の場合は、面接を課すこともある。	
前提知識の目安	アジアを対象とした思想、歴史、文学、芸術などの人文学について、学部一年生程度の基礎知識を有していること。	
問合せ先	文学部教務係 TEL：06-6850-5085/5084 FAX：06-6850-5087 Email：bunsouhaku-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp	
特記事項	【履修申請】本学部プログラムの履修を希望する者は、文学部教務係へ、平成29年2月1日(水)までに「学部プログラム履修申請書」を提出した上で、平成29年3月8日(水)までに平成28年度第2学期までの大阪大学の成績証明書を提出すること。「学部プログラム履修申請書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。	

平成29年度構成科目【人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）】（平成29年2月8日修正版）（赤字部分）

授業科目名	単位数			開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
	必修	選必	選択			
世界の中のアジア史	2			春～夏 秋～冬	3、4年	左記の「必修科目」1科目2単位を修得すること。 同一科目の重複履修可(担当教員に確認すること。)2単位を超えて修得した場合は、超過した単位を「選択必修科目」の単位とすることができる。
グローバルフィロソフィー		2		秋～冬	2、3、4年	左記の「選択必修科目」のうち22単位以上修得すること。 同一科目の重複履修可(担当教員に確認すること。)
グローバル・アジア研究Ⅰ		2		春～夏	3、4年	
グローバル・アジア研究Ⅱ		2		秋～冬	2、3、4年	
グローバル・アジア研究Ⅲ		2		秋～冬	2、3、4年	
広域アジア史Ⅰ		2		春～夏	3、4年	
広域アジア史Ⅱ		2		秋～冬	3、4年	
広域アジア史Ⅲ		2		春～夏	3、4年	
広域アジア史Ⅳ		2		秋～冬	2、3、4年	
広域アジア史Ⅴ		2		秋～冬	2、3、4年	
アジアの思想史Ⅰ		2		春～夏	2、3、4年	
アジアの思想史Ⅱ		2		秋～冬	2、3、4年	
アジアの思想史Ⅲ		2		春～冬	2、3、4年	
アジアの思想史Ⅳ		2		秋～冬	2、3、4年	
アジアの芸術史		2		秋～冬	2、3、4年	
アジアの文化と社会Ⅰ		2		秋～冬	2、3、4年	
アジアの文化と社会Ⅱ		2		秋～冬	2、3、4年	
中国語圏文学Ⅰ		2		春～夏	2、3、4年	
中国語圏文学Ⅱ		2		春～夏	2、3、4年	
中国語圏文学Ⅲ		2		秋～冬	2、3、4年	
中国語圏文学Ⅳ		2		春～夏	2、3、4年	
中国語圏文学Ⅴ		2		秋～冬	2、3、4年	
中国の文化と社会Ⅰ		2		春～夏	2、3、4年	
中国の文化と社会Ⅱ		2		春～夏	3、4年	
中国の文化と社会Ⅲ		2		秋～冬	3、4年	

「グローバルフィロソフィー」が必修科目から選択必修科目に変更されることに係る変更は、平成27年度まで遡及して取り扱います。

文学部【人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）】

プログラム名	和文	人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）
	英文	Humanities (Global Euro Studies)
開設学部	学部名	文学部
募集対象者	平成29年度に外国語学部外国語学科の2・3年次に在学する正規学生	
修了要件	24単位以上	ただし、外国語学科の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を12単位以上修得しなければならない。
趣旨・概要	<p>「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。</p> <p>本プログラムは、そのうち学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、人文学に関するプログラムを提供する。</p> <p>グローバル化が進展する今日において、ひとつの国や地域に関する専門的知識をもちながら、それを含む広い領域に関する複数の学問分野について学ぶことは、ますます重要な課題となっている。本プログラムでは、ヨーロッパの古代から現代までのあらゆる時代に関わる思想、歴史、文学、芸術などの人文学の基礎知識、理論、方法論を学び、幅広い人文学的教養と高度な専門性を備えたグローバル人材を育成することを教育目標とする。</p>	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	<p>本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。</p> <p>①ヨーロッパの文化・歴史・思想全般の基礎知識を習得している。 ②ヨーロッパの文化・歴史・思想を研究するための方法を習得している。 ③ヨーロッパの文化・歴史・思想の個別主題について専門的な知識を習得している。 ④ヨーロッパ諸言語の高度な運用能力を習得している。</p> <p>*構成科目の備考欄①～④と対応している。</p>	
カリキュラムの構成	<p>上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、以下の科目群を配置し、系統的履修を促す。</p> <p>ヨーロッパ思想とヨーロッパ芸術に関する概説講義を必修科目とし（①）、「ヨーロッパの哲学」「ヨーロッパの歴史」「ヨーロッパの文学」「ヨーロッパの歴史」「ヨーロッパの芸術」ならびに「ヨーロッパの現代」という5つの科目群を選択必修科目と位置づける。これにより、履修者の関心に応じて、ひとつの学問分野において地域横断的な知見を得る（②）とともに、ひとつの国や地域に関する分野横断的な知識の習得（③）が可能となる。さらには、ヨーロッパをアジア（と日本）との関係のなかに位置づける科目も配し、世界全体から見たヨーロッパの特殊性への意識をも涵養する。また、英・独・仏語の文献講読授業や、ネイティブ教員による英・独・仏語の授業も組み込み、高度な外国語運用能力の習得を促す（④）。</p>	

履修資格・条件	<p>ヨーロッパの歴史と現代、ならびにヨーロッパの哲学・歴史・文学・芸術に関心があり、それらの領域に関わる専門研究に従事する意欲を持つ学生を歓迎する。</p> <p>募集人員は若干名で、履修申請書（志望理由）及び成績等の審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。希望者多数の場合は、面接を課すこともある。</p>
前提知識の目安	<p>英語に加えて、ドイツ語、フランス語、イタリア語などのヨーロッパ諸言語の少なくとも一言語に関する基礎的な文法事項を修得していることが望ましい。</p>
問合せ先	<p>文学部教務係 TEL：06-6850-5085/5084 FAX：06-6850-5087 Email：bunsouhaku-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp</p>
特記事項	<p>【履修申請】 本学部プログラムの履修を希望する者は、文学部教務係へ、平成29年2月1日(水)までに「学部プログラム履修申請書」を提出した上で、平成29年3月8日(水)までに平成28年度第2学期までの大阪大学の成績証明書を提出すること。「学部プログラム履修申請書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。</p>

平成29年度構成科目【人文学(グローバル・ユーロ・スタディーズ)】(平成29年2月8日修正版)赤字部分

授業科目名	単位数			開講学期	開講部局(配当学年)	備考
	必修	選必	選択			
グローバル・ユーロ思想史	2			春～夏	2,3,4年	左記の「必修科目」2科目4単位を修得すること。 同一科目の重複履修可(担当教員に確認すること)。 4単位を超えて修得した場合は、超過した単位を「選択必修科目」の単位とすることができる。 ①
グローバル・ユーロ芸術史	2			春～夏		
ヨーロッパの哲学I		2		春～夏	2,3,4年	左記の「選択必修科目」のうちから、20単位以上修得すること。 同一科目の重複履修可(担当教員に確認すること)。 ②③④
ヨーロッパの哲学II		2		不開講		
ヨーロッパの哲学III		2		秋～冬		
ヨーロッパの哲学IV		2		春～夏		
ヨーロッパの哲学V		2		秋～冬		
ヨーロッパの哲学VI		2		不開講		
ヨーロッパの歴史I		2		春～夏	3,4年	
ヨーロッパの歴史I		2		秋～冬	2,3,4年	
ヨーロッパの歴史II		2		秋～冬	3,4年	
ヨーロッパの歴史III		2		春～夏	2,3,4年	
ヨーロッパの歴史III		2		秋～冬		
ヨーロッパの文学I		2		春～夏	2,3,4年	
ヨーロッパの文学I		2		秋～冬		
ヨーロッパの文学II		2		春～夏		
ヨーロッパの文学III		2		春～夏		
ヨーロッパの文学IV		2		春～夏		
ヨーロッパの文学V		2		秋～冬		
ヨーロッパの文学VI		2		春～夏		
ヨーロッパの文学VII		2		不開講		
ヨーロッパの文学VIII		2		春～夏		
ヨーロッパの文学VIII		2		秋～冬		
ヨーロッパの文学IX		2		春～夏		
ヨーロッパの文学X		2		春～夏		
ヨーロッパの文学X		2		秋～冬		
ヨーロッパの文学XI		2		春～夏		
ヨーロッパの文学XI		2		秋～冬		
ヨーロッパの文学XII		2		春～夏		
ヨーロッパの芸術I		2		春～夏		
ヨーロッパの芸術II		2		春～夏		
ヨーロッパの芸術III		2		秋～冬		
ヨーロッパの芸術IV		2		春～夏		
ヨーロッパの芸術IV		2		秋～冬		
ヨーロッパの現代I		2		春～夏		
ヨーロッパの現代II		4		不開講		
ヨーロッパの現代III		2		春～夏		
ヨーロッパの現代IV		2		秋～冬		

人間科学部【人間科学（共生の生態）】

プログラム名	和文	人間科学（共生の生態）
	英文	HUMAN SCIENCES (WHAT IS LIVING TOGETHER?)
開設学部	学部名	人間科学部
募集対象者	平成29年度に外国語学部外国語学科の2年次に在学する正規学生	
修了要件	24単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。ただし、外国語学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を12単位以上修得しなければならない。
趣旨・概要	「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、人間科学（共生の生態）に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。多様な文化的・社会的背景をもった人々が、国内外で出会う状況が生まれている今日、災害や紛争といった状況下ではもちろん、日常生活においても共生が求められている。本プログラムでは人間科学部の多様な専門性を活かして、さまざまな角度から共生について学ぶことを通じ、共生の実現に貢献できる人材を養成することを目標とする。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を得た方に修了認定証を授与する。 ①複眼的な思考を持ち、人々の多様性を理解できる。 ②人々と対話し関係を築き協働することについて、自分の意見を持ち、論じることができる。 ③共生に関して学んだことを応用できる。	
カリキュラムの構成	上記の到達目標を達成するために6つの科目群を配置し、共生について多面的な履修を促す。共生そのものをテーマとしてとり上げる授業と、共生に関連するテーマを扱う授業がある。 ・基礎科目群 人間科学部で学ぶための基礎的な科目群 ・行動学科目群 心理学、行動学、死生学などに関わる科目群 ・社会学科目群 社会学、文化人類学、福祉、思想などに関わる科目群 ・教育学科目群 教育学の理論と教育現場に関わる科目群 ・共生学科目群 共生そのものを考える科目群 ・G30科目群 英語による科目群	
履修資格・条件	募集人員は若干名で、履修申請書（志望理由）及び成績審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。	
前提知識の目安	前提知識は不要。	
問合せ先	人間科学部教務係 TEL：06-6879-8012 FAX：06-6879-8010 Email：kyomu@hus.osaka-u.ac.jp	
特記事項	【履修申請】 本学部プログラムの履修を希望する者は、人間科学部教務係へ、平成29年2月1日(水)までに「学部プログラム履修申請書」を提出した上で、平成29年3月7日(火)までに平成28年度第2学期までの大阪大学の成績証明書を提出すること。「学部プログラム履修申請書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。	

科目【人間科学（共生の生態）】

及び廃止年度	授業科目名	単位数			開講学期	開講部局 (配当学年)
		必修	選必	選択		
	<基礎科目>					
より廃止	人間科学概論Ⅰ		2		春～夏	人間科学部(2年次春学期以降履修可)
より廃止	人間科学概論Ⅱ		2		春～夏	人間科学部(2年次春学期以降履修可)
より廃止	人間科学概論Ⅲ		2		春～夏	人間科学部(2年次春学期以降履修可)
より廃止	人間科学概論Ⅳ		2		春～夏	人間科学部(2年次春学期以降履修可)
より追加	人間科学概論		2		春～夏	人間科学部(2年次春学期以降履修可)
より追加	行動学概論		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
より追加	社会学概論		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
より追加	教育学概論		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
より追加	共生学概論		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
	<行動学科目>					
	臨床死生学・老年行動学		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
	高齢者行動論		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
より廃止	ボランティア行動学		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
より追加	人間環境論		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
より追加	生活環境論【平成30年度より開講】		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
より追加	発達臨床心理学		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
	比較発達心理学【H29年度不開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
	霊長類心理学		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
	<社会学科目>					
	比較思想史		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
	グローバル化と文化		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
	人類学理論		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
	比較社会学		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
	現代社会学		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
	比較福祉論Ⅰ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
より追加	文明動態学		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
	<教育学科目>					
	外国教育史		2		春～夏(集中)	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
	比較教育制度学		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
	生涯教育学		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
より廃止	人権教育学		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
より廃止	同和教育論		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
より追加	共生教育学		2		春～夏(集中)	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)
より追加	人権教育論		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)

左言
科
から
4単
修

左言
科
から
4単
修

左言
科
から
4単
修

左言
科
から
4単
修

	国際協力学Ⅰ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	左記科目から6単修得と。	
より廃止	国際協力学Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
	国際社会開発論Ⅰ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より廃止	人間環境論Ⅰ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
	人間環境論Ⅱ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より廃止	多文化共生社会論Ⅱ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より廃止	動態地域論Ⅰ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より廃止	動態地域論Ⅱ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より追加	地域創成学Ⅰ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より追加	地域創成学Ⅱ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より廃止	超域地域論Ⅰ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より廃止	超域地域論Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より廃止	地域秩序論Ⅰ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より廃止	地域知識論Ⅰ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
	地域知識論Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
	<共生学科目>							左記科目し修単位ロー点の直で算入すること。
より追加	共生の人間学Ⅰ【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より追加	共生の人間学Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より追加	共生社会論Ⅰ【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より追加	共生社会論Ⅱ【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より追加	共生社会論Ⅲ【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より追加	共生行動論Ⅰ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より追加	共生行動論Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より追加	共生教育論Ⅰ【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より追加	共生教育論Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より追加	国際協力学Ⅰ【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より追加	国際協力学Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より追加	多文化共生学Ⅰ【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より追加	多文化共生学Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より追加	地域創生論Ⅰ【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より追加	地域創生論Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より追加	コンフリクトと共生Ⅰ【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
より追加	コンフリクトと共生Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)		
	<G30科目>						左記科目から2単修得と。	
	セクシャリティと教育【隔年開講】 (英名: Sexuality and Education)		2		秋～冬	人間科学部(3年次春学期以降履修可)		
	ジェンダーと教育【隔年開講】 (英名: Gender and Education)		2		秋～冬	人間科学部(3年次春学期以降履修可)		
	アジア人類学概論 (英名: Issues in Asian Anthropology)		2		秋～冬	人間科学部(3年次春学期以降履修可)		
	防災と国際協力 (英名: Disaster Prevention and International Cooperation)		2		春～夏	人間科学部(3年次春学期以降履修可)		
	世界の貧困と開発 (英名: Global Poverty and Development)		2		春～夏	人間科学部(3年次春学期以降履修可)		
	高齢者心理学 (英名: Psychology of Aging)		2		秋～冬	人間科学部(3年次春学期以降履修可)		

則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

に単位修得済みの廃止科目については、修了要件単位数に算入されます。

平成28年度履修許可者の修了要件について

下記の人間科学プログラム構成科目から、所定の履修方法に従って、24単位以上修得すること。

構成科目【人間科学(共生の生態)】

追加及び廃止年度	授業科目名	単位数			開講学期 (4学期制)	開講部局 (配当学年)	備考
		必修	選必	選択			
	<基礎科目>						
	人間科学概論		2		春～夏	人間科学部(2年次春学期以降履修可)	左記の授業科目のうちから、2科目4単位以上修得すること。
	行動学概論		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	社会学概論		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	教育学概論		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	共生学概論		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	<行動学科目>						
	臨床死生学・老年行動学		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	左記の授業科目のうちから、2科目4単位以上修得すること。
	高齢者行動論		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	人間環境論		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	生活環境論【平成30年度より開講】		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	発達臨床心理学		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	比較発達心理学【H29年度不開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	霊長類心理学		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	<社会学科目>						
	比較思想史		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	左記の授業科目のうちから、2科目4単位以上修得すること。
	グローバル化と文化		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	人類学理論		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	比較社会学		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	現代社会学		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	比較福祉論Ⅰ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	文明動態学		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	<教育学科目>						
	外国教育史		2		春～夏(集中)	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	左記の授業科目のうちから、2科目4単位以上修得すること。
	比較教育制度学		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	生涯教育学		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	共生教育学		2		春～夏(集中)	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	人権教育論		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	教育人間学Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	

追加及び廃止年度	授業科目名	単位数			開講学期	開講部局 (配当学年)	備考
		必修	選必	選択			
	<グローバル人間学科目>						
	国際協力学Ⅰ【H29年度不開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	左記の授業科目のうちから、3科目6単位以上修得すること。
H29より廃止	国際協力学Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	国際社会開発論Ⅰ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より廃止	人間環境論Ⅰ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	人間環境論Ⅱ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より廃止	動態地域論Ⅰ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より廃止	動態地域論Ⅱ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	地域創成学Ⅰ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	地域創成学Ⅱ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より廃止	超域地域論Ⅰ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より廃止	超域地域論Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より廃止	地域秩序論Ⅰ		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	地域知識論Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	<共生学科目>						
H29より追加	共生の人間学Ⅰ【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	左記の授業科目を履修し修得した単位は、グローバル人間学科目群の単位として算入することができる。
H29より追加	共生の人間学Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	共生社会論Ⅰ【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	共生社会論Ⅱ【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	共生社会論Ⅲ【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	共進行動論Ⅰ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	共進行動論Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	共生教育論Ⅰ【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	共生教育論Ⅱ【平成29年度不開講】		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	国際協力学Ⅰ【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	国際協力学Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	多文化共生学Ⅰ【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	多文化共生学Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	地域創生論Ⅰ【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	地域創生論Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	コンフリクトと共生Ⅰ【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
H29より追加	コンフリクトと共生Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
	<G30科目>						
	セクシャリティーと教育【隔年開講】 (英名: Sexuality and Education)		2		秋～冬	人間科学部(3年次春学期以降履修可)	左記の授業科目のうちから、1科目2単位以上修得すること。
	ジェンダーと教育【隔年開講】 (英名: Gender and Education)		2		秋～冬	人間科学部(3年次春学期以降履修可)	
	アジア人類学概論 (英名: Issues in Asian Anthropology)		2		秋～冬	人間科学部(3年次春学期以降履修可)	
	防災と国際協力 (英名: Disaster Prevention and International Cooperation)		2		春～夏	人間科学部(3年次春学期以降履修可)	
	世界の貧困と開発 (英名: Global Poverty and Development)		2		春～夏	人間科学部(3年次春学期以降履修可)	
	高齢者心理学 (英名: Psychology of Aging)		2		秋～冬	人間科学部(3年次春学期以降履修可)	

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

※既に単位修得済みの廃止科目については、修了要件単位数に算入されます。

平成29年度構成科目【人間科学(共生の生態)】(平成29年10月6日修正版)

授業科目名	単位数			開講 学期 (4学期制)	開講部局 (配当学年)	備考
	必修	選必	選択			
<基礎科目>						
人間科学概論		2		春～夏	人間科学部(2年次春学期以降履修可)	左記の授業科目のうちから、2科目4単位以上修得すること。
自然科学と人間科学		2		春～夏	人間科学部(2年次春学期以降履修可)	
人文学と人間科学		2		春～夏	人間科学部(2年次春学期以降履修可)	
行動学概論		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
社会学概論		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
教育学概論		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
共生学概論		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
<行動学科目>						
臨床死生学・老年行動学		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	左記の授業科目のうちから、2科目4単位以上修得すること。
高齢者行動論		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
人間環境論		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
生活環境論【平成30年度より開講】		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
発達臨床心理学		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
比較発達心理学【平成29年度不開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
霊長類心理学		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
<社会学科目>						
比較思想史		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	左記の授業科目のうちから、2科目4単位以上修得すること。
グローバル化と文化		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
人類学理論		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
比較社会学		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
現代社会学		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
比較福祉論Ⅰ		2		秋	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
文明動態学		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
<教育学科目>						
外国教育史		2		春～夏(集中)	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	左記の授業科目のうちから、2科目4単位以上修得すること。
比較教育制度学		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
生涯教育学		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
共生教育学		2		春～夏(集中)	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
人権教育論		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
教育人間学Ⅱ		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	

授業科目名	単位数			開講 学期	開講部局 (配当学年)	備考
	必修	選必	選択			
<共生学科目>						
共生の人間学I【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	左記の授業科目のうちから、3科目6単位以上修得すること。
共生の人間学II		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
共生社会論I【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
共生社会論II【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
共生社会論III【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
共生行動論I		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
共生行動論II		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
共生教育論I【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
共生教育論II【平成29年度不開講】		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
国際協力学 I【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
国際協力学II		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
多文化共生学 I【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
多文化共生学II		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
地域創生論 I【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
地域創生論II		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
コンフリクトと共生 I【平成30年度より開講】		2		春～夏	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
コンフリクトと共生II		2		秋～冬	人間科学部(2年次秋学期以降履修可)	
<G30科目>						
セクシャリティーと教育 (英名: Sexuality and Education)		2		秋～冬	人間科学部(3年次春学期以降履修可)	左記の授業科目のうちから、1科目2単位以上修得すること。
ジェンダーと教育【平成29年度不開講】 (英名: Gender and Education)		2		秋～冬	人間科学部(3年次春学期以降履修可)	
アジア人類学概論 (英名: Issues in Asian Anthropology)		2		秋～冬	人間科学部(3年次春学期以降履修可)	
防災と国際協力 (英名: Disaster Prevention and International Cooperation)		2		春～夏	人間科学部(3年次春学期以降履修可)	
世界の貧困と開発 (英名: Global Poverty and Development)		2		春～夏	人間科学部(3年次春学期以降履修可)	
高齢者心理学 (英名: Psychology of Aging)		2		秋～冬	人間科学部(3年次春学期以降履修可)	

プログラム名	和文	法学・政治学
	英文	Law and Politics
開設学部	学部名	法学部
募集対象者	平成29年度に外国語学部外国語学科の2年次に在学する正規学生	
修了要件	24単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って、24単位以上修得すること。ただし、外国語学科の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を12単位以上修得しなければならない。
趣旨・概要	「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた学生に修了認定証を授与する。 ①法学・政治学について理解している。 ②法学・政治学について自分の意見を持ち、論じることができる。 ③法学・政治学を応用できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムでは、24単位以上の修得によって法学・政治学の中心部分を学ぶことができる。履修者には外国語による法学の学習機会も提供する。学習に必要なスキルを学ぶため、〈法律学系の基本科目〉、〈国際法系科目〉、〈政治学系基本科目〉、〈外国語による授業科目〉などの選択必修科目(10単位以上)が設定され、修得した能力をさらに発展させるため、〈法学系〉、〈政治学系〉などの選択科目が設定されている。選択必修要件以外の14単位(以上)は、選択必修科目、選択科目を問わず、科目表中のどの科目の履修によっても満たすことができる。ただし、〈国際法系科目〉と〈外国語による授業科目〉だけで24単位以上をとっても修了要件を満たすことにはならない。	
履修資格・条件	現代世界の喫緊の課題に取り組むグローバルに活躍する上で不可欠な、法学・政治学の専門的な知識の中核となる部分を獲得し、法学・政治学の領域にかかわる外国語能力を高めるようという意欲のある学生を歓迎する。 募集人員は、若干名。履修希望者多数の場合は、入学以降の成績(GPA)の上位者から順に履修の許可を与える。	
前提知識の目安	法学・政治学に関する大学初等レベルの知識を持っていることが望ましい。	
問合せ先	法学部教務係 TEL:06-6850-5145 FAX:06-6850-5089 Email:hokyoumu@law.osaka-u.ac.jp	
特記事項	【履修申請】本学部プログラムの履修を希望する者は、法学部教務係へ、平成29年2月1日(水)までに「学部プログラム履修申請書」を提出した上で、平成29年3月8日(水)までに平成29年度第2学期までの大阪大学の成績証明書を提出すること。「学部プログラム履修申請書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLえのホームページから入手できる。	

構成科目【法学・政治学】

授業科目名	単位数			開講学期 (4学期制)	配当学年	備考	
	必修	選必	選択				
<法律学系基本科目>							
法学の基礎		2		春～夏	1年次以降	左記の選択必修科目のうちから、10単位以上修得すること。	
憲法入門		2		秋～冬	1年次以降		
憲法1		4		春～夏	2年次以降		
憲法2		4		秋～冬	2年次以降		
行政法1		2		春～夏	2年次以降		
行政法2		2		春～夏	2年次以降		
民法入門		2		秋～冬	1年次以降		
民法1		4		春～夏	2年次以降		
民法2		4		秋～冬	2年次以降		
民法3		4		春～夏	3年次以降		
<国際法系>							
国際法1		2		春～夏	2年次以降		
国際法2		2		秋～冬	2年次以降		
国際法3		2		春～夏	3年次以降		
国際経済法		2		春～夏	3年次以降		
国際取引法		2		秋～冬	3年次以降		
中国法		4		秋～冬	3年次以降		
<政治学系基本科目>							
政治学の基礎		2		春～夏	1年次以降		
国際関係論入門		2		秋～冬	1年次以降		
政治学原論		4		秋～冬	2年次以降		
西洋政治思想史		4		春～夏	3年次以降		
日本政治史		4		春～夏	2年次以降		
アジア政治史		4		秋～冬	3年次以降		
<外国語による授業科目>							
特別講義(Topics in Comparative Law)		2		春～夏	3年次以降		
特別講義(Topics in Japanese Law)		2		春～夏	3年次以降		
特別講義(Topics in Comparative Law)		2		秋～冬	3年次以降		
特別講義(Topics in Japanese Law)		2		秋～冬	3年次以降		
Special Lecture: Focal Points of Public Law and Private Law in Japan		2		不開講	3年次以降		

授業科目名	単位数			開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
	必修	選必	選択			
<法学系>						
行政法3			2	秋～冬	3年次以降	
行政法4			2	春～夏	3年次以降	
刑法1			4	春～夏	2年次以降	
刑法2			4	秋～冬	2年次以降	
刑事訴訟法			4	秋～冬	3年次以降	
民法4			2	秋～冬	3年次以降	
商法1			2	秋～冬	2年次以降	
商法2			4	春～夏	3年次以降	
商法3			2	春～夏	3年次以降	
民事訴訟法1			2	春～夏	3年次以降	
民事訴訟法2			2	秋～冬	3年次以降	
経済法			2	春～夏	3年次以降	
労働法			4	秋～冬	3年次以降	
社会保障法			2	不開講	3年次以降	
国際私法			2	秋～冬	3年次以降	
国際環境法			2	秋～冬	3年次以降	
国際人権法			2	春～夏	3年次以降	
特別講義			2	—	3年次以降	
ヨーロッパ法			2	不開講	3年次以降	
日本の法制度			2	春～夏	1年次以降 (留学生対象・大学院同時開講)	
<政治学系>						
政治過程論			4	春～夏	3年次以降	
日本政治思想史			4	(不開講)	3年次以降	
西洋政治史			4	秋～冬	3年次以降	
国際政治学			4	不開講	3年次以降	
外交史			4	春～夏	3年次以降	
行政学			4	春～夏	3年次以降	
地方行政論			2	秋～冬	3年次以降	
比較政治			4	秋～冬	3年次以降	
外交政策論			2	春～夏	3年次以降	
安全保障政策論			2	春～夏	3年次以降	
平和学			2	春～夏	3年次以降	
現代ヨーロッパ政治			2	春～夏	3年次以降	
国際行動論			2	春～夏	3年次以降	
国際機構論			2	秋～冬	3年次以降	

※開講科目は平成28年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

経済学部【経済学・経営学】

プログラム名	和文	経済学・経営学
	英文	Economics and Business Administration
開設学部	学部名	経済学部
募集対象者	平成29年度に外国語学部外国語学科の2年次に在籍する正規学生	
修了要件	24単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。ただし、外国語学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を12単位以上修得しなければならない。
趣旨・概要	「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、経済学・経営学に関するプログラムを提供する。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①経済学・経営学の基礎について理解している。 ②経済学・経営学の理論を現実の経済・経営問題に応用できる。 ③現実の経済・経営問題について自分の意見を持ち、論じることができる。	
カリキュラムの構成	上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、全学共通教育科目・専門基礎教育科目の「経済学A」および「経済学B」の単位を修得することを前提として、専門教育科目から24単位以上を修得することを要件とする。その際には、経済学部の正規学生と同様に、基礎的な科目群（「マクロ経済」「ミクロ経済」「経済史」「経営計算システム」「統計」）から3科目12単位を修得することを必修とする（選択必修科目）。これにより、経済学・経営学の基本的な考え方を身に付ける。加えて、その他の関連科目（選択科目）から12単位、合計24単位以上を履修することで、応用力も涵養することを目標とする。	
履修資格・条件	募集人員は若干名とする。履修申請書（志望理由）及び成績等の審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。応募者多数の場合は、面接を課すこともある。選考面接の日時等については、別途連絡する。	
前提知識の目安	全学共通教育科目・専門基礎科目教育の「経済学A」および「経済学B」の知識を前提とする。また、全学共通教育科目・専門基礎教育科目の「数学A」および「数学B」を履修していることが望ましい。	
問合せ先	経済学部教務係 TEL：06-6850-5204 FAX：06-6850-5212 Email：kyoumu@econ.osaka-u.ac.jp	
特記事項	【履修申請】本学部プログラムの履修を希望する者は、経済学部教務係へ、平成28年2月1日(水)までに「学部プログラム履修申請書」を提出した上、平成29年3月6日(月)までに平成28年度第2学期までの大阪大学の成績証明書を提出すること。「学部プログラム履修申請書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。	

●構成科目（経済学・経営学）

授業科目名	単位数			開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
	必修	選必	選択			
〈選択必修科目〉						
マクロー経済		4		春～夏	2年次春学期以降	左記の授業科目のうちから、3科目12単位以上修得すること。
ミクロー経済		4		秋～冬	1年次秋学期以降	
経済史		4		秋～冬	1年次秋学期以降	
経営計算システム		4		春～夏	2年次春学期以降	
統計		4		春～夏	2年次春学期以降	
〈選択科目〉						
財 政			4	春～夏	2年次秋学期以降	
金 融			4	H29年度は不開講	2年次秋学期以降	
国 際 貿 易			4	H29年度は不開講	2年次秋学期以降	
国 際 金 融			4	春～夏	2年次秋学期以降	
労 働 経 済			4	春～夏	2年次秋学期以降	
応 用 ミ ク ロ 経 済			4	H29年度は不開講	2年次秋学期以降	
現 代 日 本 経 済			4	春～夏	2年次秋学期以降	
経 済 発 展			4	秋～冬	2年次秋学期以降	
公 共 経 済			4	H29年度は不開講	2年次秋学期以降	
エ コ ノ メ ト リ ッ ク ス			4	秋～冬	2年次秋学期以降	
日 本 経 済 史			4	秋～冬	2年次秋学期以降	
西 洋 経 済 史			4	H29年度は不開講	2年次秋学期以降	
経 営 管 理			2	秋～冬	2年次秋学期以降	
組 織 論			2	春～夏	2年次秋学期以降	
財 務 会 計 1			2	H29年度は不開講	2年次秋学期以降	
財 務 会 計 2			2	秋～冬	2年次秋学期以降	
フ ァ イ ナ ン ス			4	H29年度は不開講	2年次秋学期以降	
マ ー ケ テ ィ ン グ 1			2	秋～冬	2年次秋学期以降	
マ ー ケ テ ィ ン グ 2			2	H29年度は不開講	2年次秋学期以降	
経 営 科 学 基 礎			2	秋～冬	2年次秋学期以降	
応 用 経 営 科 学			2	秋～冬	2年次秋学期以降	
生 産 マ ネ ジ メ ン ト 基 礎			2	H29年度は不開講	2年次秋学期以降	
現 代 生 産 マ ネ ジ メ ン ト			2	H29年度は不開講	2年次秋学期以降	
デ ー タ マ イ ニ ン グ			2	春～夏	2年次秋学期以降	
テ キ ス ト マ イ ニ ン グ			2	秋～冬	2年次秋学期以降	
経 営 情 報 シ ス テ ム			4	H29年度は不開講	2年次秋学期以降	
経 営 史			4	H29年度は不開講	2年次秋学期以降	
日 本 経 営 史			4	春～夏	2年次秋学期以降	
各 論			2又は4	春～夏または秋～冬	2年次秋学期以降	
経 済 思 想			2	H29年度は不開講	3年次春学期以降	
経 済 学 説 史			4	秋～冬	3年次春学期以降	
公 共 政 策			2	H29年度は不開講	3年次春学期以降	

授業科目名	単位数			開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
	必修	選必	選択			
数 理 経 済			2	H29年度は不開講	3年次春学期以降	
事 業 創 造 論			2	春～夏	3年次春学期以降	
戦 略 論			2	春～夏	3年次春学期以降	
管 理 会 計			4	秋～冬	3年次春学期以降	
企 業 経 済 学 1			2	春～夏	3年次春学期以降	
企 業 経 済 学 2			2	春～夏	3年次春学期以降	
経営シミュレーション			2	未定	3年次春学期以降	
上 級 マ ク ロ 経 済 Ⅰ			2	春～夏	3年次春学期以降	
上 級 マ ク ロ 経 済 Ⅱ			2	秋～冬	3年次春学期以降	
上 級 ミ ク ロ 経 済 Ⅰ			2	春～夏	3年次春学期以降	
上 級 ミ ク ロ 経 済 Ⅱ			2	秋～冬	3年次春学期以降	
上級エコノメトリックスⅠ			2	春～夏	3年次春学期以降	
上級エコノメトリックスⅡ			2	秋～冬	3年次春学期以降	
上 級 統 計			2	春～夏	3年次春学期以降	
デ ー タ 解 析 論			2	春～夏	3年次春学期以降	
商 法 1			2	秋～冬	3年次春学期以降	
経 済 法			2	春～夏	3年次春学期以降	
特 殊 講 義			2又は4	春～夏または秋～冬	3年次春学期以降	
研 究 セ ミ ナ ー (ゼミ)			4	春～冬	3年次春学期以降	

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、構成科目に留意してください。

※選択必修1以外の開講学期については、変更される場合があります。

※「各論」及び「特殊講義」は、各年度において、副題を付して開講し、副題を異にする場合は、それぞれについて所定の単位を付与します。

外国語学部【英語・英米文化学】

プログラム名	和文	英語・英米文化学
	英文	English and Anglo-American Culture
開設学部	学部名	外国語学部
募集対象者	平成29年度に文学部、人間科学部、法学部、経済学部の2, 3年次に在学する正規学生	
修了要件	24単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を12単位以上修得しなければならない。またプログラム修了時の1月末までに、TOEFL (PAPER) 580点以上ないし別に定める(別表)外部検定試験のスコアを提出すること。
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した文学部・人間科学部・法学部・経済学部の学生に対して、英語・英米文化学に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、読み、書き、聞き、話す国際的な場面で通用する総合的な高い英語能力を涵養するとともに、英語圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想に通暁した人材を育成することを目指す。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	<p>本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。</p> <p>①英語の四技能(リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング)に関して、別表にある所定の外部検定試験スコア相当の高い運用能力を有する。</p> <p>②英語圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想を深く理解するとともに、英語で関連テーマについて高度なレベルのプレゼンテーションやディスカッションを行うことができる。</p>	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開講する授業科目の内、兼修外国語英語の中級科目(1単位の実習)、上級科目(2単位の演習)および学部共通科目の英語科目(2単位の演習)によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、英語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。募集人員は各学部若干名で、履修申請書(志望理由)および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。応募者には必要に応じて面接を課すことがある。プログラム構成科目の履修の際には、別表を参照し、所定のいずれかの外部検定試験のそれぞれの科目の基準を満たすスコアの写し(画像)を期限までに提出する必要がある。有効取得日、提出期限に注意のうえ、遺漏のないよう手続きをすること。なお、プログラムの履修申請にあたっては、特定の外部検定試験のスコア提出は不要とする。本プログラムへの登録が認められながらも科目履修において必要とされるスコアの提出が困難な者については、別途設置された準備コース(課外補習クラス)を受講することにより、プログラム履修開始年度の第2学期以降の科目履修を目指すことができるものとする。	

前提知識の目安	
問合せ先	<p>マルチリンガル・エキスパート養成プログラム：担当者 TEL：072-730-5062 FAX：072-730-5057 Email：multilingual@lang.osaka-u.ac.jp</p>
特記事項	<p>【履修申請】 本学部プログラムの履修を希望する者は、MLE 担当者へ、平成28年2月1日(水)までに、「学部プログラム履修申請書」を提出した上で、平成29年3月8日(水)までに平成28年度第2学期までの大阪大学の成績証明書を提出すること。「学部プログラム履修申請書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。</p>

平成29年度構成科目【英語・英米文化学】(平成29年2月8日修正版)

赤字部分

授業科目名	単位数			開講学期 (4学期制)	開講部局(配当学年)	備考
	必修	選必	選択			
英語(語学)a			1	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英語(語学)b			1	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英語(文学)a			1	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英語(文学)b			1	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英語(文化)a			1	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定【注】
英語(文化)b			1	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定【注】
英語(コミュニケーション)a			1	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英語(コミュニケーション)b			1	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英語学Ⅰa			2	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英語学Ⅰb			2	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英語学Ⅱa			2	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英語学Ⅱb			2	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英文学Ⅰa			2	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英文学Ⅰb			2	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英文学Ⅱa			2	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英文学Ⅱb			2	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英米文化Ⅰa			2	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定【注】
英米文化Ⅰb			2	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定【注】
英米文化Ⅱa			2	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定【注】
英米文化Ⅱb			2	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定【注】
英米文化Ⅲa			2	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定【注】
英米文化Ⅲb			2	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定【注】
英米文化Ⅳa			2	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定【注】
英米文化Ⅳb			2	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定【注】
英米文化Ⅴa			2	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定【注】
英米文化Ⅴb			2	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定【注】
英米文化Ⅵa			2	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定【注】
英米文化Ⅵb			2	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定【注】
英語会話Ⅰa			2	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英語会話Ⅰb			2	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英語会話Ⅱa			2	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英語会話Ⅱb			2	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英語作文Ⅰa			2	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英語作文Ⅰb			2	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英語作文Ⅱa			2	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
英語作文Ⅱb			2	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面/豊中開講予定
Academic Presentation Course a			2	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面開講
Academic Presentation Course b			2	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面開講
Academic Writing Course a			2	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面開講
Academic Writing Course b			2	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面開講
World English Seminar a			2	春～夏	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面開講
World English Seminar b			2	秋～冬	外国語学部(2,3,4)	①② 箕面開講

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
※構成科目の履修において必要とされるスコアの提出が困難な場合は、課外補習クラスとして開講される「英語・英米文化学準備コース」を受講することに
より、プログラム履修開始年度の第2学期以降の科目履修を目指すことができます。
※同一科目の重複履修は可能です。(ただし、担当教員に内容を確認し許可を得ること。)
【注】「英語(文化)」および「英米文化」の各科目では、英語圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想に関連した内容が扱われます。

別表：英語・英米文化学プログラム・2017年度検定試験スコアの提出について

「英語・英米文化学構成科目」の履修については、所定の検定試験のいずれかを受検し、基準を満たすスコアの写し（画像）を期限までに提出する必要があります。有効取得日、提出期限に注意のうえ、遺漏のないよう手続きしてください。

履修・修得科目	各種要件等			プログラム修了要件	有効取得日	提出期限	
・英語（語学・文学・文化・コミュニケーション）a	2017年度1学期履修登録要件				入学以後に取得したもの	4月の履修申請時にメール添付	最終期限：2017年4月14日(金)
	2017年度2学期履修登録要件				入学以後に取得したもの	10月の履修申請時にメール添付	最終期限：2017年10月16日(月)
・英語（語学・文学・文化・コミュニケーション）b		2017年度2学期単位修得要件			入学以後で、なおかつ2016年4月1日以降	単位修得年度の1月末日	2018年1月31日(水)
・（英語学・英文学・英語会話・英語作文）I a ・（英語学・英文学・英語会話・英語作文）II a ・英米文化（I、II、III、IV、V、VI）a		2017年度1学期履修登録要件			入学以後に取得したもの	4月の履修申請時にメール添付	最終期限：2017年4月14日(金)
・（英語学・英文学・英語会話・英語作文）I b ・（英語学・英文学・英語会話・英語作文）II b ・英米文化（I、II、III、IV、V、VI）b		2017年度2学期履修登録要件			入学以後に取得したもの	10月の履修申請時にメール添付	最終期限：2017年10月16日(月)
			2017年度2学期単位修得の目安		入学以後で、なおかつ2016年4月1日以降	単位修得年度の1月末日	2018年1月31日(水)
・Academic Writing Course a/b ・Academic Presentation Course a/b ・World English Seminar a/b		2017年度1学期履修登録要件			入学以後に取得したもの	4月の履修申請時にメール添付	最終期限：2017年4月14日(金)
			2017年度2学期履修登録要件		入学以後に取得したもの	10月の履修申請時にメール添付	最終期限：2017年10月16日(月)
プログラム修了要件					入学以後、プログラム修了年度の前年度または当該年度に取得したもの	プログラム修了年度の1月末日	
試験種類	実用英語技能検定	準1級以上	準1級以上	準1級以上	—	※基準を満たす有効取得日内のスコアを過去に提出済みの場合は、再度の提出は不要です。	
	TOEIC (L&R)	580点以上	630点以上	730点以上	820点以上	※実用英語技能検定は更新制ではないため、入学以後に取得したものであれば特に有効期限を定めないものとします。	
	TOEFL (PAPER)	500点以上	520点以上	550点以上	580点以上	※学内で実施される団体試験（TOEIC-IP、TOEFL-ITP）のスコアも有効とします。	
	TOEFL (iBT)	61点以上	68点以上	82点以上	92点以上	※[(英語学・英文学・英米文化・英語会話・英語作文) I b・II b]の単位修得要件中に提示した点数はあくまで目安（単位修得に必要なと想定される点数、目標とすべき点数）であり、基準点（必要条件）ではありませんが、提出されたスコアを参考にしたうえで成績評価がなされます。	
	IELTS	5.0以上	5.5以上	6.0以上	6.5以上		

【提出方法】

（履修申請時）

科目履修申請時にスコアを証明する箇所（検定試験の種類、受検年月日、氏名、スコアが印字されている部分）の画像を、メールに添付して履修科目とともに送付してください（送付先アドレス〈マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）〉：multilingual@lang.osaka-u.ac.jp、詳細はホームページ（http://www.mle.osaka-u.ac.jp/）を確認してください）。

（単位修得時およびプログラム修了時）

KOAN、MLEのホームページまたは下記提出場所で配布している「TOEIC (L&R)、TOEFL、英検、IELTS スコアシート提出票（MLE用）」にスコアを証明する箇所（検定試験の種類、受検年月日、氏名、スコアが印字されている部分）の写しを貼り付けのうえ

箕面キャンパス：A棟1階教務系事務室 MLE担当者
豊中キャンパス：全学教育推進機構総合棟II 1階外国語学部学務係豊中分室窓口（豊中分室は共通教育科目の授業期間内のみ開室しています）

に提出してください。